

「在宅支援薬剤師専門研修カリキュラム」

2021・9・7

基本研修 専門研修に取り組むにあたって

一般目標（G I O）

薬剤師として、在宅医療を支援する為必要と思われる主な基本的資質を自ら確認する。

研修Ⅰ 在宅医療に取り組むにあたって

一般目標（G I O）

在宅医療に参画する為に必要な基礎知識を習得するとともに、各職種との連携の重要性を理解する。

研修Ⅱ 在宅医療を実践するにあたって

一般目標（G I O）

在宅医療に参画し、職能を発揮する為に必要とされる専門的、実践的な知識・技能・態度を身につける。

『在宅支援について』 ZS

到達目標（SB0s）

- 1・地域における薬剤師の役割を理解する。【Ⅰ】
- 2・訪問薬剤管理業務を知る。【Ⅰ】
- 3・在宅医療と医療・介護の保険制度を理解する。【Ⅰ】
- 4・訪問薬剤管理指導計画書の作成が出来る。【Ⅱ】

『在宅医療について・地域包括支援システムについて』 ZI

到達目標（SB0s）

- 1・地域包括支援システムについて理解する。【Ⅰ】
- 2・多職種連携の意義（必要性、役割）を知る。【Ⅰ】
- 3・在宅医療における医師の役割を理解する。【Ⅰ】
- 4・在宅医療における歯医師の役割を理解する。【Ⅰ】
- 5・在宅医療における看護師及び訪問看護ステーションの役割を理解する。【Ⅰ】
- 6・在宅医療における介護支援専門員の役割を理解する。【Ⅰ】
- 7・在宅医療におけるその他職種とその役割を知る。【Ⅰ】
- 8・地域におけるインフォーマルなサービスを知る。【Ⅰ】
- 9・サービス担当者会議に参加し情報を共有する事が出来る。【Ⅱ】
- 10・医師、歯科医師に訪問薬剤管理報告書を提出し、協議出来る。【Ⅱ】
- 11・各種カンファレンスやサービス担当者会議の役割を知る。【Ⅰ】
- 12・薬物治療を中心とした問題に対して、医療と福祉の多職種と連携・協議する事が出来る。【Ⅱ】

『認知症について』 NS

到達目標 (SB0 s)

- 1・認知症対応について理解する。【基本】
- 2・認知症における地域及び多職種連携について理解する。【基本】
- 3・認知症における服薬管理及び指導が適切に出来る。【基本】
- 4・認知症における薬物療法の効果、副作用をモニタリング出来る。【基本】

『在宅用医療器材及び機器について』 IK

到達目標 (SB0 s)

- 1・在宅にて用いられる、医療・衛生材料を知る。【I】
- 2・在宅にて用いられる、医療機器を知る。【I】
- 3・褥瘡等、状態に即した適切な医療・衛生材料を選び、その用法を指導出来る。【I】
- 4・酸素療法等、状態に即した医療機器の情報提供が出来る。【II】

『在宅関連施設について』 ZK

到達目標 (SB0 s)

- 1・在宅関連施設における服薬指導、医薬品管理を理解する。【基本】
- 2・高齢者の在宅生活や在宅医療を支援する施設を知る。【I】
- 3・介護保険関連施設の種類と役割を知る。【I】

『在宅関連調剤について』 ZC

到達目標 (SB0 s)

- 1・無菌操作を要する調剤を知る。【基本】
- 2・無菌製剤における制度を理解する。【基本】
- 3・経鼻・経管・経静脈栄養患者への調剤について知る。【II】
- 4・嚥下困難者における薬剤管理及び処方提案が出来る。【II】
- 5・簡易懸濁法による薬剤投与の是非が判断出来る。【II】
- 6・IVH 製剤の調整が出来る。【II】
- 7・注射薬の無菌操作が出来る。【II】
- 8・抗がん剤調剤の暴露等への対応調剤が出来る。【II】

『疼痛緩和について』 TK

到達目標 (SB0 s)

- 1・緩和ケアの概念を知る。【基本】
- 2・疼痛緩和に用いる医療用麻薬等の薬剤の種類、用法を知る。【基本】
- 3・医療用麻薬の管理・指導が出来る。【基本】
- 4・疼痛コントロールのアセスメントが出来る。【II】
- 5・疼痛緩和への麻薬処方設計提案が出来る。【II】

『検査値・バイタルサインについて』 KB

到達目標 (SB0 s)

- 1・検査値とバイタルサインを知る。【II】
- 2・検査値・バイタルサインにより患者の状態を知る。【II】
- 3・器具、機器を用いて、検査値・バイタルサインをチェックする。【II】
- 4・検査値・バイタルサイン情報を薬剤管理指導に活かす。【II】
- 5・在宅における患者の体調チェック等を行い、薬学的アセスメントを行える。【II】